

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《1》

NPO 法人 奈良まほろばソムリエの会
保存継承グループ 作成

<p>天然記念物：東大寺鏡池棲息ワタカ＝奈良市雑司町東大寺境内 指定 1953 年 3 月 23 日、調査 2020 年 10 月 17 日 所有者・管理者＝東大寺 【今後の課題】ワタカは環境省のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されている。奈良県においては今後もワタカの保護に努めてほしい。</p>
<p>天然記念物：樟（クス）の巨樹＝奈良市奈良阪町 指定 1951 年 11 月 1 日、調査 2020 年 10 月 17 日 所有者・管理者＝奈良豆彦神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：正暦寺境内のコジイ林＝奈良市菩提山町 157 番地の一部 指定 1993 年 3 月 5 日、調査 2021 年 4 月 2 日 所有者・管理者＝正暦寺 【当面の課題】数年前から鹿による食害がひどく、林床に生育していた指定の構成種も食べられて地面がむき出しになっている。実態把握と対策が必要。 【今後の課題】コジイも今は茂っているが、苗木が食害にあっているため次の世代がない。実態把握と対策が必要。県指定の説明板がない。</p>
<p>天然記念物：五色椿＝奈良市白毫寺町 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2021 年 4 月 2 日 所有者・管理者＝白毫寺 【今後の課題】説明板に「大和三名椿」＝白毫寺の「五色椿」、伝香寺の「散り椿」、東大寺開山堂の「糊こぼし椿」＝の記載を希望する。知名度アップが期待できる。</p>
<p>天然記念物：八幡神社社叢＝奈良市月ヶ瀬桃香野 5281 指定 2008 年 3 月 28 日、調査 2021 年 3 月 5 日 所有者・管理者＝八幡神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：吐山の左巻榎（ヒダリマキガヤ）＝奈良市都祁吐山町 1845 指定 1953 年 3 月 23 日、調査 2020 年 9 月 22 日 所有者・管理者＝個人 【今後の課題】個人所有ながら邸宅の外に自生していて見学しやすいが、たどり着くための道案内板の設置を望む。</p>
<p>天然記念物：石上神宮社そう＝天理市布留町 3 8 4 番地 指定 1995 年 3 月 22 日、調査 2021 年 3 月 19 日 所有者・管理者＝石上神宮 【当面の課題】県指定の説明板は確認出来ず。 【今後の課題】一部で表層の崩落が見られ、今後巨木が更に倒れる危険性を感じる。伐採という方法ではなく、本質的な部分から探った原因対処や状況の把握を望む。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《2》

<p>天然記念物：石上神宮鏡池棲息ワタカ＝天理市布留町384番地 指定 1953年3月23日、調査 2021年3月19日 所有者・管理者＝石上神宮 【今後の課題】ワタカは環境省のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されている。奈良県においては今後もワタカの保護に努めてほしい。</p>
<p>天然記念物：下之坊の大スギ＝天理市福住町265番地 指定 2020年3月6日、調査 2020年9月22日 所有者・管理者＝下之坊 【当面の課題】南北2本の巨木杉の巨大化に伴って地面が浮き上がり、石の階段がずり上がっている。根を傷めないように補修すべきである。 【今後の課題】北杉は特異な生態を示し学術的価値が高いため、定期的な生態観察や診断が必要であり県での取り組みを望む。</p>
<p>天然記念物：ソテツの巨樹＝桜井市外山 指定 1957年6月13日 所有者・管理者＝個人 調査見送り</p>
<p>天然記念物：浄鏡寺旧境内のアスナロの群落＝桜井市笠877番地 指定 1961年3月14日、調査 2020年11月5日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】浄鏡寺旧境内にはアスナロ群落の説明板がある。ただアスナロ群落に行く道に案内板がないために調査場所を探すのに一苦勞であった。案内板の設置を望む。</p>
<p>天然記念物：初瀬のイチョウの巨樹＝桜井市初瀬 指定 1974年3月26日、調査 2020年11月5日 所有者・管理者＝川上区 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：お葉つきイチョウ＝桜井市南音羽 指定 1977年3月22日、調査 2020年12月3日 所有者・管理者＝観音寺 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：瀧蔵（たきくら）神社社そう 附（ついたり） シダレザクラ1本＝桜井市滝倉 指定 1988年3月22日、調査 2020年8月9日 所有者・管理者＝瀧蔵神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：篋（へら）の木＝五條市出屋敷町 指定 1957年6月23日、調査 2020年9月19日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《3》

<p>天然記念物奈良：ヤマモモの巨樹＝五條市西吉野町奥谷 1048 番地 指定 1959 年 2 月 5 日、調査 2021 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝五條市</p> <p>【当面の課題】指定年月日が奈良県指定文化財一覧とヤマモモの説明板（1959 年 2 月 25 日）とで相違しているため、修正を望む。</p> <p>【今後の課題】現地近くの交差点で迷いやすく、案内板の設置を望みたい。縁のある作家・直木三十五の石碑があるが、文字が読めない状態なので改善が必要ではないか。</p>
<p>天然記念物：ふくじゅ草の自生地＝五條市西吉野町津越、同町桧川迫 指定 1973 年 3 月 15 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【当面の課題】獣害と盗難のため奈良県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定されている。公開エリアで防護柵やネットが設置されているが、引き続き対策の充実が必要。</p> <p>【今後の課題】公開エリア外の対策が求められる。絶滅寸前種の現状を知らせる広報も必要ではないか。</p>
<p>天然記念物：大川杉＝御所市西佐味 指定 1983 年 3 月 15 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝高鴨神社</p> <p>【当面の課題】杉の樹勢に問題はないと思われるが、周囲の竹の繁茂が強い。実質管理は西佐味地区だが、何らかの対処を望みたい。</p> <p>【今後の課題】大川杉の名称は根元からこんこんと水が湧き出ていたことに由来するが、現在は水量がほとんどなくなっている。専門家による原因究明と対策を望みたい。</p>
<p>天然記念物:往馬大社の社そう＝生駒市壺分町 1527 の 1 の一部 西菜畑町 3015 の一部 指定 1998 年 3 月 20 日、調査 2020 年 7 月 25 日 所有者・管理者＝往馬坐伊古麻都比古神社</p> <p>【当面の課題】注意事項案内板の汚れが気になる。</p> <p>【今後の課題】宅地開発の進む中、生駒山麓地帯を代表する極相林を人為的ミスにより森林生態系を壊すこと無く維持してほしい。</p>
<p>天然記念物:どんづる峯＝香芝市穴虫 指定 1951 年 11 月 1 日、調査 2020 年 6 月 27 日 所有者・管理者＝香芝市</p> <p>【当面の課題】現在自由に中に立ち入れる状況であるが、岩肌がもろく崩れやすい。保存のためには、展望スポット以外への立ち入りを制限した方がいいのではないか。</p> <p>【今後の課題】岩の間の樹木の成長で、かつての真っ白な岩肌の広がり狭まってきていると感じる。専門家の指導の下、樹木の最小限の伐採をしていただけないだろうか。</p>
<p>天然記念物:志都美（しずみ）神社の社そう＝香芝市今泉 指定 1996 年 3 月 22 日、調査 2020 年 6 月 27 日 所有者・管理者＝志都美神社 特に課題なし</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《4》

<p>天然記念物:笛吹神社イチイガシ林＝葛城市笛吹 448 指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝葛木坐火雷（かつらきにいますほのいかづち）神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：無渋榎（しぶなしがや）＝宇陀市菟田野宇賀志、真証寺旧境内 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2020 年 12 月 3 日 所有者・管理者＝真証寺 【今後の課題】カヤの周囲の草刈りや整備は近所の方が定期的にされている。過疎・高齢化の地域ゆえ限界があるので、県からの定期的な視察や整備も必要かと思われる。</p>
<p>天然記念物：戒長寺のお葉つきイチョウ＝宇陀市榛原戒場 386 番地 指定 1978 年 3 月 28 日、調査 2020 年 11 月 5 日 所有者・管理者＝戒長寺 【当面の課題】殆ど読めない案内板も散在するので、整理整備が望ましい。</p>
<p>天然記念物：戒場神社のホオノキの巨樹＝宇陀市榛原戒場 388 番地 指定 1978 年 3 月 28 日、調査 2020 年 11 月 5 日 所有者・管理者＝戒場神社 【今後の課題】ホオノキの根元や主幹部分は傷み、空洞化が進んでいるので、衰えを防ぐために専門家も交えた対策を講じる必要がある。</p>
<p>天然記念物：御井（みい）神社境内のツルマンリョウ群落＝宇陀市榛原檜牧 964 番地 指定 1953 年 3 月 23 日、調査 2020 年 9 月 18 日 所有者・管理者＝御井神社 【当面の課題】地域住民の方々がツルマンリョウ保存会を作り、獣害から荒らされないように群落の周りを柵で囲って保護している。ここ 10 年は実を見たことはない。 【今後の課題】代表者は植物の専門家を呼んで調査を希望している。県も地元の話聞いてサポートをしていただきたい。</p>
<p>天然記念物：高井の千本杉＝宇陀市榛原高井 指定 1981 年 3 月 17 日、調査 2020 年 6 月 21 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：内牧の無渋榎（しぶなしがや）＝宇陀市榛原内牧 指定 1981 年 3 月 17 日、調査 2021 年 1 月 7 日 所有者・管理者＝個人 【今後の課題】学術上も貴重な無渋榎。内牧川河岸の傾斜地に植わっているので根腐れや風水害時を想定内とした対策管理が必要ではないか。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《5》

<p>天然記念物：初生寺（はじょうじ）境内のツルマンリョウ自生地＝宇陀市榛原自明 741 指定 1982 年 3 月 12 日、調査 2020 年 9 月 18 日 所有者・管理者＝初生寺 【当面の課題】以前は境内のあちこちにあったが、10 年前からツルマンリョウは見られなくなった。説明板はそのまま境内に設置。 【今後の課題】ツルマンリョウは消滅しているのに説明板及び県指定史跡一覧に掲載されたままなので、初生寺境内のツルマンリョウ自生地は外すしかないと思う。</p>
<p>天然記念物：仏隆寺（ぶつりゅうじ）のサクラの巨樹＝宇陀市榛原赤埴 指定 1983 年 3 月 15 日、調査 2020 年 6 月 21 日 所有者・管理者＝仏隆寺 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：神野山（こうのやま）＝山辺郡山添村北野、伏拝 指定 1958 年 3 月 20 日、調査 2020 年 11 月 22 日 所有者・管理者＝伏拝ほか 6 大字 【今後の課題】遊歩道各所にある案内板の保守点検が必要ではないか。</p>
<p>天然記念物：神野寺境内の二次林＝山辺郡山添村伏拝 指定 1997 年 3 月 21 日、調査 2020 年 11 月 22 日 所有者・管理者＝神野寺 【当面の課題】説明板は確認出来ず。二次林となった経緯を知る説明板があればと思う。 【今後の課題】寺の東部、弁天池奥の二次林は倒木が多く見られ、荒廃が進んでいるように思う。自然の力による樹木の成長、再生に期待したい。</p>
<p>天然記念物：ソテツの巨樹＝生駒郡斑鳩町龍田 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝龍田神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：樟（クス）の巨樹＝磯城郡田原本町薬王寺 514 番地 指定 1958 年 3 月 20 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝八幡神社 【当面の課題】拝殿裏にある樟への説明板設置を望みたい。県指定は昭和 33 年 3 月 20 日だが、薬王寺自治会説明板は、昭和 52 年 5 月 20 日とあり記載間違いと思われる。 【今後の課題】見学者が停める駐車場の設置を望みたい。近くにある公民館の駐車場に停めるように案内するのも一法と思われる。</p>
<p>天然記念物：村屋坐彌富都比売（むらやにいますみふつひめ）神社の社そう＝磯城郡田原本町蔵堂 426 指定 1983 年 3 月 15 日、調査 2020 年 11 月 22 日 所有者・管理者＝村屋坐彌富都比売神社 【当面の課題】社そうにある竹の除去は伐採のみで、かためて置かれている状況にある。 【今後の課題】樹勢を衰えさせる竹の除去が必要。また、傾いた状態の枝などの伐採など社そうを守るための費用と人手をどう確保するかが必要となる。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《6》

<p>天然記念物：御葉付イチョウ＝宇陀郡曾爾村今井 733 番地 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2020 年 10 月 18 日 所有者・管理者＝門僕神社 【当面の課題】イチョウ樹木の上部の部分は葉も少なくなり樹勢は無いように思われる。曾爾村教育委員会の御葉付イチョウ表示板があるのみで県指定説明板が見当たらない。</p>
<p>天然記念物：ヒダリマキガヤ群落＝宇陀郡曾爾村葛 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2020 年 10 月 18 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：神末（こうずえ）のカヤの巨木林＝宇陀郡御杖村神末 指定 2005 年 3 月 29 日、調査 2020 年 10 月 18 日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】台風などの問題が生じた場合は村から県に報告という流れを明確にしてほしい。 【今後の課題】カヤの利用を目的とした業者が裏山から侵入しやすいので、県指定天然記念物としての説明板・案内板の設置を望む。</p>
<p>天然記念物：馬見丘陵出土シガゾウ化石、馬見丘陵出土シカマシフゾウ化石＝北葛城郡河合町から出土、橿原市畝傍町 50、県立橿原考古学研究所附属博物館 指定 1986 年 3 月 18 日 所有者＝個人、管理者＝奈良県 調査見送り</p>
<p>天然記念物：西谷川流域暖地性羊歯植物群落＝吉野郡吉野町西谷 指定 1953 年 3 月 23 日 所有者・管理者＝個人 調査見送り</p>
<p>天然記念物：津風呂神社のサカキカズラ＝吉野郡吉野町津風呂 指定 1953 年 3 月 23 日、調査 2020 年 12 月 12 日 所有者・管理者＝津風呂神社 【当面の課題】当年度、町の担当者と樹木医による現地調査の際、サカキカズラの有無は確認できず。 【今後の課題】対象物がないのであれば文化財の指定を再検討するべきではないか。</p>
<p>天然記念物：山口のツルマンリョウ群落＝吉野郡吉野町山口 643、高鉾神社境内 指定 1953 年 3 月 23 日、調査 2020 年 12 月 12 日 所有者・管理者＝高鉾神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：コウヤマキ群落＝吉野郡吉野町吉野山 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《7》

<p>天然記念物：桜本坊のギンモクセイ＝吉野郡吉野町吉野山 指定 1967 年 11 月 25 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝桜本坊 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：イワツバメの越冬地＝吉野郡吉野町上市 指定 1973 年 3 月 15 日、調査 2021 年 3 月 13 日 管理者＝吉野町教育委員会 【当面の課題】 できれば営巣数や個体数の把握・記録が必要だと思う。 【今後の課題】 イワツバメが越冬地として適切な環境の地を選択しているので、県の天然記念物として暖かく見守り、継続的に統計を取っていく必要があると思う。</p>
<p>天然記念物：広橋の御葉付イチョウ＝吉野郡下市町広橋 1731 指定 1974 年 3 月 26 日、調査 2020 年 9 月 26 日 所有者・管理者＝安楽寺 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：龍泉寺の自然林＝吉野郡天川村洞川 674－1・2 指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝龍泉寺 【今後の課題】 説明板の解説文の前半部分に専門用語が含まれており難しい文章なので、誰が読んでもわかるような解説文を望む。</p>
<p>天然記念物：イワナの棲息地＝吉野郡天川村北角 指定 1962 年 6 月 7 日 管理者＝天川村漁業協同組合 調査見送り</p>
<p>天然記念物：イワツバメの越冬地＝吉野郡天川村洞川 指定 1973 年 3 月 15 日 管理者＝天川村 調査見送り</p>
<p>天然記念物：坪内のイチョウの巨樹＝吉野郡天川村坪内、来迎院境内 指定 1974 年 3 月 26 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝来迎院門徒 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：五代松鍾乳洞＝吉野郡天川村大字洞川 686 指定 1979 年 3 月 23 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝洞川財産区 【当面の課題】 奈良県の説明板が見当たらなかった。洞内の案内図が置いていない。 【今後の課題】 洞内の道路は狭く、貴重な石筍にぶつかりそうになる。注意喚起と慎重な管理を希望する。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《8》

<p>天然記念物：面不動鍾乳洞＝吉野郡天川村洞川 指定 1979 年 3 月 23 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝洞川財産区 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：イワナの棲息地＝吉野郡野迫川村弓手原 指定 1962 年 6 月 7 日 所有者・管理者＝弓手原区 調査見送り</p>
<p>天然記念物：杉の巨樹群＝吉野郡十津川村玉置山 12、玉置神社境内 指定 1959 年 2 月 5 日、調査 2020 年 10 月 24 日 所有者・管理者＝玉置神社 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：玉置山の枕状溶岩堆積地＝吉野郡十津川村山手谷 397 指定 1997 年 3 月 21 日、調査 2020 年 10 月 24 日 所有者・管理者＝十津川村 特に課題なし</p>
<p>天然記念物：前鬼のトチノキ巨樹群＝吉野郡下北山村前鬼 199-1 指定 2001 年 3 月 30 日、調査 2020 年 6 月 6 日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】説明板等の設置は無い。登山道には道標は一か所あるが、悪天候時には迷いやすいので、さらなる道標設置とトチノキの説明板が欲しい。 【今後の課題】トチノキは湿った環境を好むのでこの森を万全に保存する必要がある。トチノキの巨樹の間に杉の巨樹も生育しているが問題はないのだろうか。</p>
<p>天然記念物：かわのり＝吉野郡川上村入之波 指定 1954 年 3 月 2 日 管理者＝川上村 調査見送り</p>
<p>天然記念物：大台ヶ原さんしょう魚＝吉野郡川上村・吉野川流域 指定 1954 年 3 月 2 日 管理者＝川上村 調査見送り</p>
<p>天然記念物：不動窟鍾乳洞＝吉野郡川上村柏木字山津谷 350 番地 指定 1982 年 3 月 12 日、調査 2020 年 7 月 18 日 所有者・管理者＝柏木観光協会 【当面の課題】洞内は天井からの水滴や、流れる水の飛沫により歩道がかなり濡れている。見学者の安全に留意する必要がある。 【今後の課題】洞内に一か所大量の水が流れているが、水の浸食により現状の洞窟の形が大きく変形する可能性がありうる。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【天然記念物】《9》

天然記念物：十二社神社社そう＝吉野郡川上村中奥 7-8 指定 1985 年 3 月 15 日、調査 2020 年 7 月 18 日 所有者・管理者＝十二社神社 特に課題なし
天然記念物：ケグワ＝吉野郡川上村人知～迫 指定 2000 年 3 月 31 日、調査 2020 年 7 月 18 日 所有者＝国、管理者＝国土交通省 【今後の課題】草刈り時に誤って幼芽も刈り取ったり、周辺へのゴミの不法投棄問題など懸念される。設置されていた説明板は「奈良県指定天然記念物 ケグワ」と記されているだけなので、他の文化財と同様に樹木の特徴などを明記した説明板の設置を望む。
天然記念物：円覚寺のギンモクセイの巨樹＝吉野郡東吉野村木津川、円覚寺境内 指定 1954 年 3 月 2 日、調査 2020 年 11 月 21 日 所有者・管理者＝円覚寺 特に課題なし
天然記念物：八幡神社境内のツルマンリョウ群生地＝吉野郡東吉野村鷺家 1171 番地 指定 1974 年 3 月 26 日、調査 2020 年 11 月 21 日 所有者・管理者＝八幡神社 特に課題なし

以上